

プログラム名	No 1	テント泊体験										分類	屋外			
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。															
活動内容	テントサイトにテントを建て宿泊する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生		高校生			青年			受入人数		
			◎			◎		○			○			90人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		○	◎	◎	◎	◎	○									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										1.5 時間		場 所			
	<テント設営>												キャンプ場			
	①職員の説明 ・テント設営の方法										20分					
	②準備・設営 (※ 団体による指導)										30分					
	<テント撤収>												キャンプ場			
	③職員の説明 ・テント撤収の方法 ・シュラフ等の片づけ										20分					
	④撤収・後片づけ (※ 団体による指導)										20分					
事前活動	● 3人～5人で、テント1つに宿泊するメンバーを編成する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・ドーム型テント:合計24張 (子ども5人用10張。子ども3人用14張) ・シュラフ ・銀マット ・ブルーシート(必要な方へ)										・就寝時用着替え ・懐中電灯またはランタン(電池式のみ可) ・虫よけスプレー ・毛布またはタオルケット(必要に応じて)					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● テント泊は入浴の制限あり。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 2	カヌーチャレンジ										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	カヌー初心・初級者を対象とし、カヌーの漕ぎ方を知り、アイリスブリッジまで往復する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					○					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			◎			◎			38人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		○	◎	◎	◎	◎	○									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					12,000円(救助艇:半日) 18,000円(救助艇:1日)					
活動の流れ	内 容										2.5 時間		場 所			
	①カヌー用具の準備										40分		カヌー艇庫前			
	②職員の説明・実演とパドル練習 ・パドルの使い方 ・カヌーの乗り方等 ・後片付けの方法										30分		北潟湖			
	③活動 ・ライフジャケットの着用 ・集団で折り返し地点まで航行(往復約3km)										50分					
	④後片づけ(利用団体で行う)										30分		カヌー艇庫前			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・カヌー用具										・ぬれてもよい服装 ・かかとが固定できるはき物(サンダルなど) ・帽子 ・水筒 ・タオル ・着替え ・サングラス(必要であれば)					
備考 (留意点)	● 対象は4年生以上。 ● 救助艇を用意できる場合は、救助艇代は不要。 ● 荒天時は中止。(晴天でも強風あるいは波が高い場合)															

[目次へ](#)

プログラム名	No 3	中距離カヌー体験										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	カヌー経験者対象の、北潟湖の塩尻橋や菖蒲園を周遊しながら自然を体感する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生		高校生			青年			受入人数		
			◎			◎		◎			◎			38人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		○	◎	◎	◎	◎	○									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					12,000円(救助艇)					
活動の流れ	内 容										3 時間	場 所				
	①職員の説明 ・パドルの使い方 ・コースの確認 ・後片付けの方法										30分	カヌー艇庫前				
	②活動 ・カヌーの搬出 ・ライフジャケットの着用 ・集団で塩尻橋を通過して湖の南側を周遊 その後、折り返して菖蒲園まで航行										2時間	北潟湖 南側周辺				
	③後片づけ										30分	カヌー艇庫前				
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・カヌー用具 ・コース説明用地図										・ぬれてもよい服装 ・かかとが固定できるはき物(サンダルなど) ・帽子 ・水筒 ・タオル ・着替え (・サングラス)					
備考 (留意点)	● 対象は4年生以上。 ● カヌー経験者(1回以上操船したことがある者)のみ可。 ● 救助艇を用意できる場合は、救助艇代は不要。 ● 荒天時は中止。(晴天でも強風あるいは波が高い場合)															

[目次へ](#)

プログラム名	No 4		長距離カヌー体験										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。																
活動内容	1日かけて、カヌー艇庫から北潟湖河口（浜坂）までをカヌーで往復する活動																
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業						
	◎					—					◎						
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (5年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数		
			○			◎			◎			◎			30人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他						
	—					—					18,000円(救助艇)						
活動の流れ	内 容										8 時間		場 所				
	①職員の説明 ・コースの説明と注意										10分		カヌー艇庫前				
	②活動（※ 団体で救護車を用意） ・職員先導で浜坂までカヌーによる移動 （※ 途中休憩をはさむ） ・吉崎汀公園まで移動し昼食・休憩 （※ 昼食・休憩中は、団体が指導） ・職員先導でカヌー艇庫までカヌーによる移動 （※ 途中休憩をはさむ）										7時間30分 (3時間) (15分) (1時間) (3時間) (15分)		カヌー艇庫～浜坂				
	③後片づけ										20分						
事前活動	● 当所からあわら市建設課に連絡し、汀児童公園(吉崎)の使用許可をもらっておく。 ● 当所からあわら市建設課・北潟漁協に連絡し、浜坂漁港の使用許可をもらっておく。 ● コース付近の医療機関の場所と連絡先を確認しておく。																
準備物	当 所								利 用 者								
	・カヌー用具 ・コース説明用地図								・ぬれてもよい服装 ・かかとが固定できるはき物(サンダルなど) ・帽子 ・弁当 ・水筒 ・タオル ・着替え (・サングラス)								
備考 (留意点)	● リタイヤ者は、救護車で青年の家まで搬送する。(※カヌーは救助艇で牽引) ● 救護車は利用団体で準備。(※カヌーは救助艇で牽引)																

目次へ

目次へ

プログラム名	No 5		いかだづくり										分類	屋外	
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。														
活動内容	塩ビパイプと発泡スチロールを使って自分たちでいかだを作る活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	○					－					◎				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生		青年			受入人数	
			◎			◎			○					40人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
		○	○	○	◎	◎									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	1艇2, 420円					－					－				
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所		
	①職員の説明 ・安全に活動する方法・作り方の説明 ・後片づけの方法										20分		カヌー艇庫前		
	②製作（ ※ 団体による指導 ） ・グループに分かれて製作										1時間30分		カヌー艇庫前		
	③後片づけ（ ※ 団体による指導 ）										10分		カヌー艇庫前		
事前活動	● いかだ6艇(6グループ)まで製作が可能。 ● 利用者を1グループ6～8人に分けておく。														
準備物	当 所								利 用 者						
	●ロックタイ ・いかだ材料一式 ・メジャー ・ガムテープ ・はさみ ・ごみ袋 ・いかだづくり資料								・帽子 ・軍手 ・水筒 ・タオル						
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● いかだ1艇につき、最大8人まで乗艇可能。 ● No.7「いかだ乗り」体験を実施する場合のみ可能。														

目次へ

[目次へ](#)

プログラム名	No 6	いかだ乗り体験										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	自分たちの力で北潟湖へいかだでこぎ出し、自然の力や豊かさを体感する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	○					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			○						40人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
			○	○	◎	◎										
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					12,000円(救助艇)					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①職員の説明 ・オールのコギ方 ・後片づけの方法										20分		カヌー艇庫前			
	②体験 ・グループに分かれて体験										1時間		北潟湖			
	③後片づけ										40分		カヌー艇庫前			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・いかだ ・オール ・ライフジャケット										・ぬれてもよい服装 ・かかとが固定できるはき物(サンダルなど) ・帽子 ・水筒 ・タオル ・着替え (・サングラス)					
備考 (留意点)	● No.6「いかだづくり」を実施した場合のみ可能。 ● 救助艇を用意できる場合は、救助艇代は不要。 ● 荒天時は中止。(晴天でも強風あるいは波が高い場合) ● 引率者の一部と職員がカヌーに乗り、安全確認を行う。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 7		シットダウン・パドル・ボード										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。																
活動内容	自分たちの力で北潟湖へいかだでこぎ出し、自然の力や豊かさを体感する活動																
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業						
	◎					○					○						
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数		
			◎			◎			○			○					
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	24人				
			○	○	◎	◎	○										
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他						
	—					—					12,000円(救助艇)						
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所				
	①職員の説明 ・オールまたはパドルのこぎ方 ・ライフジャケットの着方 ・後片づけの方法										30分		カヌー艇庫前				
	②SDP体験 ・発泡ボードに安全ロープを十字に巻きつける ・グループに分かれて体験										70分		北潟湖				
	③後片づけ ・ボードを洗う ・オールまたはパドルを洗う										20分		カヌー艇庫前				
事前活動	● 原則として4年生以上とする。(※ただし、低学年の場合は下記、留意点参照) ● 2人までボードに乗れるので、ペアを作っておく。																
準備物	当 所								利 用 者								
	・いかだ用発泡ボード(最大12枚) ・オールまたはパドル(参加者人数分) ・ライフジャケット								・ぬれてもよい服装 ・かかとが固定できるサンダル ・帽子 ・水筒 ・タオル ・着替え (※サングラスがあれば)								
備考 (留意点)	● 荒天時は中止。(晴天でも強風あるいは波が高い場合) ● 引率者の一部と職員がカヌーに乗り、安全確認を行う。 ● 小学生低学年の場合、保護者または引率者が同伴ならば可とする。																

目次へ

[目次へ](#)

プログラム名	No 8	ウォーキングクイズラリー	分類	屋外									
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。												
活動内容	地図を見ながらポイントを探し、クイズに答えながら、設定時間を目指して歩く活動												
提供方法	一般団体(学校含む)		芦原温泉客	主催事業									
	◎		○	—									
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 (4年生以上)	中学生	高校生	青年	受入人数							
		◎	◎	○	○	120人							
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○	◎	◎	◎	◎	◎	○					
活動費用	研修材料費		施設使用料		その他								
	—		—		—								
活動の流れ	内 容				2.5 時間		場 所						
	①職員の説明 ・コース ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法				20分		正面広場						
	②活動（※ 団体による指導） ・各班ごとに分かれて活動				2時間		北潟湖畔道路 湖畔公園敷地内						
	③後片づけ（※ 団体による指導）				10分		正面広場						
事前活動	● 参加者の構成、時間等を考慮する。 ● 4～8人で班を作る。 ● 引率者はコースの下見を行う。（AコースとBコースあり）												
準備物	当 所				利 用 者								
	・クイズポイント(20ヶ所) ・バインダー ・問題用紙(コース地図) ・解答用紙 ・筆記用具				・帽子 ・水分 ・タオル								
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。（※職員は説明のみ行う）												

[目次へ](#)

プログラム名	No 9	ウォーキングクイズラリー(ショート)	分類	屋外									
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。												
活動内容	地図を見ながらポイントを探し、クイズに答えながら、設定時間を目指して歩く活動												
提供方法	一般団体(学校含む) ◎		芦原温泉客 ○	主催事業 —									
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 (4年生以上) ◎	中学生 ◎	高校生 ○	青年 ○	受入人数							
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	120人
		○	◎	◎	◎	◎	○						
活動費用	研修材料費 —			施設使用料 —			その他 —						
活動の流れ	内 容										1.5 時間	場 所	
	①職員の説明 ・コース ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法										20分	正面広場	
	②活動 (※ 団体による指導) ・各班ごとに分かれて活動										1時間	北潟湖畔道路 湖畔公園敷地内	
	③後片づけ (※ 団体による指導)										10分	正面広場	
事前活動	● 参加者の構成、時間等を考慮する。 ● 4～8人で班を作る。 ● 引率者はコースの下見を行う。(AコースとBコースあり)												
準備物	当 所 ・クイズポイント(10ヶ所) ・バインダー ・問題用紙(コース地図) ・解答用紙 ・筆記用具							利 用 者 ・帽子 ・水分 ・タオル					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う)												

[目次へ](#)

プログラム名	No 10	ポイントオリエンテーリング										分類	屋外				
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。																
活動内容	地図を見ながらポストを探し、カードにパンチしながら、決められたルールで歩く活動																
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業						
	◎					○					—						
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数			
			◎			◎			○		○			120人			
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
		○	◎	◎	◎	◎	○										
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他						
	コース地図1枚毎に50円					—					—						
活動の流れ	内 容										1～2 時間		場 所				
	①指導者の説明(利用団体) ・ポイントOLのルールを確認する。 ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法										20分		研修室(屋外)				
	②活動 (※ 団体による指導) ・各班ごとに分かれて活動										0.5～1.5時間		広場・湖畔公園				
	③後片づけ (※ 団体による指導)										10分						
事前活動	● 参加者の構成、時間等を考慮し、コースやルールを決めておく。 ● 4～8人で班を作る。 ● 引率者はコースの下見を行う。																
準備物	当 所								利 用 者								
	・ポスト ・コース地図(解説付)×グループ数								・帽子 ・水分 ・タオル ・チェックカード(団体独自で作成した場合) ・時計(班に1つ)								
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 林道では、へび等に注意する。																

目次へ

[目次へ](#)

プログラム名	No 11	フリーポイントオリエンテーリング	分類	屋外
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
活動内容	地図を見ながらポストを探し、カードにパンチしながら、決められたルールで歩く活動			
提供方法	一般団体(学校含む) ◎		芦原温泉客 ○	主催事業 —
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 ◎	中学生 ◎	高校生 ○
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月
		○	◎	◎
	8月	9月	10月	11月
	◎	◎	○	
	12月	1月	2月	3月
受入人数	120人			
活動費用	研修材料費 コース地図1枚毎に50円		施設使用料 —	その他 —
活動の流れ	内 容		1～2 時間	場 所
	①指導者の説明(利用団体) ・フリーポイントOLのコースやルールについて確認する ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法		20分	研修室(屋外)
	②活動 (※ 団体による指導) ・各班ごとに分かれて活動		0.5～1.5時間	広場・湖畔公園
	③後片づけ (※ 団体による指導)		10分	
事前活動	● 参加者の構成、時間等を考慮し、コースやルールを決めておく。 ● 4～8人で班を作る。 ● 引率者はコースの下見を行う。			
準備物	当 所 ・ポスト ・コース地図(解説付)×グループ数		利 用 者 ・帽子 ・水分 ・タオル ・チェックカード(団体独自で作成した場合) ・時計(班に1つ)	
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 林道では、へび等に注意する。			

[目次へ](#)

プログラム名	No 12	スコアオリエンテーリング										分類	屋外			
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。															
活動内容	地図を見ながらポストを探し、カードにパンチしながら、決められたルールで歩く活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					○					—					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			◎			○		○			120人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		○	◎	◎	◎	◎	○									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	コース地図1枚毎に50円					—					—					
活動の流れ	内 容										1～2 時間		場 所			
	①指導者の説明(利用団体) ・スコアOLのコースやルールについて確認する ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法										20分		研修室(屋外)			
	②活動 (※ 団体による指導) ・各班ごとに分かれて活動										0.5～1.5時間		広場・湖畔公園			
	③後片づけ (※ 団体による指導)										10分					
事前活動	● 参加者の構成、時間等を考慮し、コースやルールを決めておく。 ● 4～8人で班を作る。 ● 引率者はコースの下見を行う。															
準備物	当 所 ・ポスト ・コース地図(解説付)×グループ数										利 用 者 ・帽子 ・水分 ・タオル ・チェックカード(団体独自で作成した場合) ・時計(班に1つ)					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 林道では、へび等に注意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 13	グリーン・フィールド・ゲーム	分類	屋外								
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。											
活動内容	敷地内を歩きながら樹木を探し、説明看板をみて、知識を深める活動											
提供方法	一般団体(学校含む)		芦原温泉客	主催事業								
	◎		○	—								
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 (4年生以上)	中学生	高校生	青年	受入人数						
		◎	◎	○	○	60人						
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○				
活動費用	研修材料費		施設使用料		その他							
	—		—		—							
活動の流れ	内 容				1.5～2 時間		場 所					
	①職員の説明 ・コース、エリアの確認 ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法				15分		芝生広場					
	②活動 (※団体による指導) ・各班ごとに分かれて活動				1.5時間		施設敷地内					
	③後片付け(※団体による指導)				15分		芝生広場					
事前活動	● 参加者の構成、時間等を考慮する。 ● 3～5人程度で活動班を作る。 ● 引率者はコースの下見を行う。											
準備物	当 所				利 用 者							
	・敷地内の樹木、40種類の説明看板 ・班ごとの解答用紙 ・バインダー ・本部の計測用時計				・筆記用具							
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う)											

[目次へ](#)

プログラム名	No 14 北潟湖周遊ウォーキング										分類	屋外			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。														
活動内容	北潟湖周辺をウォーキングすることを通して、豊かな自然を感じる。														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					○					◎				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年		受入人数		
			◎			◎			○		○		80人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					—					—				
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所		
	①諸注意 (※ 団体による指導)										5分		研修室		
	②北潟湖周辺の説明と観察 ・北潟湖について ・赤尾湿地について ・北潟湖周辺の小動物について ・北潟湖東側に吹く風について ・北潟湖周辺の鳥について ・北潟湖の魚について ・風と風力発電について										105分		北潟湖周辺		
	④後片づけ										10分				
事前活動															
準備物	当 所										利 用 者				
	・解説シート ・解説用フィリップ ・案内図										・雨具(カッパ、コート等) ・水筒				
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は同行しない) ● 解説も利用団体の指導者で行う。資料などについては事前に提供する。 ● 各生物などが直接見られないこともある。 ● 冬季の降雪は、実施できないこともある。														
目次へ															

プログラム名	No 15	棒巻きパンづくり										分類	屋外			
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。															
活動内容	BBQ炉内の火の上で、木の棒に巻いた発酵済みのパン生地を焼き上げる活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			○			○		○			120人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○								
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	400円					—					薪1束(1炉分、1束690円)					
活動の流れ	内 容										2.5 時間		場 所			
	①説明 (※ 団体による指導)										30分		食事棟			
	・パン生地を棒に巻く方法 ・焼く方法と食べる時の注意 ・後片付けの方法															
	②活動・食事 (※ 団体による指導)										1時間40分		BBQ炉			
	・班ごとに分かれて活動と食事															
	③後片づけ (※ 団体による指導)										20分		BBQ炉			
事前活動	● 1班8人以下で、班を編成する。 ● かまど係を決める。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・パン生地 ・薪(広葉樹ミックス) ・棒巻きパン用木棒 ・かまど用具										・手拭き用タオル ・飲み物 ・軍手 ※かまど係のみ ・水泳用ゴーグル ※かまど係のみ ・うちわ ※かまど係のみ					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● BBQ炉は、1班で1つ使用する。 ● 後片付けの時、木棒にパン生地がついていないかどうか、引率者と職員で確認する。															

[且次へ](#)

プログラム名	No 16	野外炊さん①「カレー」										分類	屋外			
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。															
活動内容	かまどの火で野外炊さんやカレーづくりをする活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			◎			○		○			120人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○								
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	690円(1人分)					—					薪1束(1炉分、1束690円)					
活動の流れ	内 容										3.5 時間		場 所			
	①職員の説明 ・ライスクッカーでごはんを炊く方法 ・カレーの作り方 ・後片付けの方法										30分		食事棟			
	②活動・食事 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて炊さん活動と食事										2時間 (食事時間を含む)		炊事棟・食事棟			
	③後片づけ (※ 団体による指導)										1時間		炊事棟・食事棟			
事前活動	● 1班8人以下で、班を編成する。 ● かまど係、食器係、お米係を決めておく。															
準備物	当 所										利 用 者					
	●カレー材料 ●薪(広葉樹) ・野外炊さん用具 ・かまど用具 ・洗淨用具										・食器用布きん(1人1枚以上) ・手拭き用タオル ・飲み物 ・軍手 ※かまど係のみ ・水泳用ゴーグル ※かまど係のみ ・うちわ ※かまど係のみ					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 後片付けの時、カレー・ご飯のぬめり・煤が残っていないか、引率者と職員で確認する ● 鳶やカラスに注意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 17	野外炊さん②「牛丼」										分類	屋外			
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。															
活動内容	かまどの火でご飯を炊いたり、具を煮たりして牛丼づくりをする活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			○			○		○			120人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○								
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	830円(1人分)					—					薪1束(1炉分、1束690円)					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①職員の説明 ・ライスクッカーでご飯を炊く方法 ・牛丼の作り方 ・後片付けの方法										30分		食事棟			
	②活動・食事 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて活動と食事										1.5時間 (食事時間を含む)		炊事棟・食事棟			
	③後片づけ (※ 団体による指導)										1時間		炊事棟・食事棟			
事前活動	● 1班8人以下で、班を編成する。 ● かまど係、食器係、お米係を決めておく。															
準備物	当 所										利 用 者					
	●牛丼材料 ●薪 ・野外炊さん用具 ・かまど用具 ・洗浄用具										・食器用布きん(1人1枚以上) ・手拭き用タオル ・飲み物 ・軍手 ※かまど係のみ ・水泳用ゴーグル ※かまど係のみ ・うちわ ※かまど係のみ					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 後片付けの時、油汚れ・ご飯のぬめり・煤が残っていないか、引率者と職員で確認する。 ● 鳶やカラスに注意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 18		野外炊さん③「焼きそば」					分類	屋外				
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。												
活動内容	自分たちでBBQ炉に火をつけて、焼きそばをつくる活動												
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業		
	◎					—					○		
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生		高校生			青年		受入人数
			◎			○		○			○		120人
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○					
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他		
	570円(1人分)					—					薪1束(1炉分、1束690円)		
活動の流れ	内 容								3 時間		場 所		
	①職員の説明 ・焼きそば作りの進め方、注意 ・後片付けの方法								30分		食事棟		
	②活動・食事 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて活動と食事								2時間 (食事時間を含む)		BBQ炉・炊事棟		
	③後片づけ (※ 団体による指導)								30分		BBQ炉・炊事棟		
事前活動	● 1班8人以下で、班を編成する。 ● かまど係を決める。												
準備物	当 所								利 用 者				
	● やきそば材料 ● 薪 ・ 野外炊さん用具 ・ かまど用具 ・ 洗浄用具								・ 食器用布きん(1人1枚以上) ・ 手拭き用タオル ・ 飲み物 ・ 軍手 ※かまど係のみ ・ 水泳用ゴーグル ※かまど係のみ ・ うちわ ※かまど係のみ				
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 後片付けの時、油汚れ・煤が残っていないか、引率者と職員で確認する。 ● 鳶やカラスに注意する。												

[目次へ](#)

プログラム名	No 19		野外炊さん④「BBQ」										分類	屋外	
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。														
活動内容	自分たちでBBQ炉に火をつけて、BBQをつくる活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					—					○				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
			◎			○			○			○			120人
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○							
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	BBQ材料A(1,500円) BBQ材料B(1,750円)					—					薪1束(1炉分、1束690円)				
活動の流れ	内 容										2.5 時間		場 所		
	①職員の説明 ・BBQの進め方、注意 ・後片付けの方法										30分		食事棟		
	②活動・食事（※ 団体による指導） ・班ごとに分かれて活動と食事										1時間 (食事時間を含む)		BBQ炉・炊事棟		
	③後片づけ（※ 団体による指導）										1時間		BBQ炉・炊事棟		
事前活動	● 1班8人以下で、班を編成する。 ● かまど係を決める。														
準備物	当 所										利 用 者				
	● BBQ材料(AまたはB) ● 薪 ・野外炊さん用具 ・かまど用具 ・洗浄用具										・食器用布きん(1人1枚) ・手拭き用タオル ・飲み物 ・軍手 ※かまど係のみ ・水泳用ゴーグル ※かまど係のみ ・うちわ ※かまど係のみ				
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 後片付けの時、油汚れ・煤が残っていないか、引率者と職員で確認する。 ● 鳶やカラスに注意する。														

[目次へ](#)

プログラム名	No 20	トッピングだけの簡単ピザづくり										分類	屋内			
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。															
活動内容	石窯の薪に火をつけたり、醗酵済みのピザ生地にとッピングし石窯で焼いたりする活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児 ※大人同伴		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
	○		◎			○			○		○			60セット		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	800円					○					薪2束(1窯分、1束690円)					
活動の流れ	内 容										2.5 時間		場 所			
	①職員の説明 ・野菜スープの作り方 ・トッピングの方法 ・後片付けの方法										30分		サイエンスルーム			
	②活動・試食 ・班ごとに分かれて活動・試食										1時間40分		サイエンスルーム・食堂			
	③後片づけ										20分		サイエンスルーム			
事前活動	● 1班あたり3～5人で編成する。 ● 大人で希望があれば、石窯係を決める。															
準備物	当 所										利 用 者					
	● 簡単ピザ材料(生地含む) ● 薪(広葉樹ミックス) ・ピザ用具 ・かまど用具										・エプロン ・三角巾 ・手拭き用タオル ・食器用ふきん(1人1枚) ・飲み物					
備考 (留意点)	● 1窯で約20枚焼くことができる。 ● スープなしのピザは700円。 ● かまど前では足元に注意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 21		生地からのばす簡単ピザづくり								分類	屋内				
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。															
活動内容	石窯の薪に火をつけたり、醗酵済みのピザ生地をのばしてトッピングし石窯で焼いたりする活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児 ※大人同伴			小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
	○			◎			○			○			○			60セット
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	880円					○					薪2束(1窯分、1束690円)					
活動の流れ	内 容										2.5 時間		場 所			
	①職員の説明										30分		サイエンスルーム			
	・野菜スープの作り方 ・生地の伸ばし方 ・トッピングの方法 ・後片付けの方法															
	②活動・試食										1時間40分		サイエンスルーム・食堂			
	・班ごとに分かれて活動・試食															
	③後片づけ										20分		サイエンスルーム			
事前活動	● 1班あたり3～5人で編成する。 ● 大人で希望があれば、石窯係を決める。															
準備物	当 所										利 用 者					
	● 簡単ピザ材料(生地含む) ● 薪(広葉樹ミックス) ・ピザ用具 ・かまど用具										・エプロン ・三角巾 ・手拭き用タオル ・食器用ふきん(1人1枚) ・飲み物					
備考 (留意点)	● 1窯で約20枚焼くことができる。 ● スープなしのピザは780円。 ● かまど前では足元に注意する。															

プログラム名	No 22	本格ピザづくり										分類	屋内			
ねらい	食について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う。その上で、家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。															
活動内容	石窯の薪に火をつけたり、粉からピザ生地を作りトッピングし石窯で焼いたりする活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児 ※大人同伴		小学生 (4年生以上)			中学生		高校生			青年		受入人数			
	○		◎			○		○			◎		60セット			
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	980円					○					薪2束(1窯分、1束690円)					
活動の流れ	内 容										3.5 時間		場 所			
	①職員の説明 ・ピザ生地の作り方 ・野菜スープの作り方 ・生地のはし方とトッピングの方法 ・後片付けの方法										20分		サイエンスルーム			
	②活動・試食 ・班ごとに分かれて活動・試食										2時間50分		サイエンスルーム・食堂			
	③後片づけ										20分		サイエンスルーム			
事前活動	● 1班あたり3～5人で編成する。 ● 大人で希望があれば、石窯係を決める。															
準備物	当 所										利 用 者					
	●本格ピザ材料 ●薪(広葉樹ミックス) ・ピザ用具 ・かまど用具										・エプロン ・三角巾 ・手拭き用タオル ・食器用ふきん ・飲み物					
備考 (留意点)	● 1窯で約20枚焼くことができる。 ● ピザ1枚、野菜スープ、ジュース(200mlパック)で1セット。 ● かまど前では足元に注意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 23	レザークラフト										分類	屋内			
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。															
活動内容	革に刻印で好きな模様を付け、キーホルダーやコースターを作る活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			◎			◎		○			50人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
活動費用	研修材料費 キーホルダー(230円) コースター(320円)					施設使用料					その他					
						○					－					
活動の流れ	内 容										1. 5 時間		場 所			
	①説明 (※ 職員による指導) ・模様の付け方(刻印) ・着色の方法 ・後片付けの方法										15分		研修室			
	②製作 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて製作										1時間		研修室			
	③後片づけ (※ 団体による指導)										15分		研修室			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・レザークラフト材料 ・刻印 ・レザー染料 ・レザーコート ・ドライヤー										なし					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 後片付けの時に、刻印の数がすべてそろっているか、引率者は必ず確認すること。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 24	蜜蝋キャンドルづくり	分類	屋内								
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。											
活動内容	蜜蝋を用いて、デコレーションキャンドルをつくる活動											
提供方法	一般団体(学校含む)		芦原温泉客	主催事業								
	◎		○	○								
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 (4年生以上)	中学生	高校生	青年	受入人数						
		◎	◎	○	○	50人						
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月
	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
活動費用	研修材料費		施設使用料		その他							
	500円		○		－							
活動の流れ	内 容				1. 5 時間		場 所					
	①説明（※ 団体による指導）				10分		研修室					
	・蜜蝋色板をお湯で加工しやすくする方法											
	・飾りの作り方											
活動の流れ	②製作（※ 団体による指導）				1時間10分		研修室					
	・後片付けの方法											
	③後片づけ（※ 団体による指導）				10分		研修室					
	・班ごとに分かれて製作											
事前活動												
準備物	当 所				利 用 者							
	●蜜蝋キャンドル材料 ・プラスチックバット ・ラップ ・つまようじ				・手洗い用タオル ・下絵(デザイン画)							
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● お湯による火傷に注意。											

[目次へ](#)

プログラム名	No 25	ステンドグラスづくり										分類	屋内			
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。															
活動内容	透明なCDケースに染料で好きな模様を描き、フォトスタンドを作る活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	○					○					○					
対象年齢	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数	
(◎は推奨)	○		◎			◎			○			○			50人	
受入時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
(◎は推奨)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	340円					○					—					
活動の流れ	内 容										1.5 時間		場 所			
	①説明（※ 団体による指導） ・絵の縁取りの方法 ・着色の方法 ・後片付けの方法										15分		研修室			
	②製作（※ 団体による指導） ・班ごとに分かれて製作										1時間		研修室			
	③後片づけ（※ 団体による指導）										15分		研修室			
事前活動	● 下絵を描いておく。(絵の大きさはCDケースより一回り小さいこと)															
準備物	当 所										利 用 者					
	●CDケース ・ラインマーカー ・ステンドカラー(赤・黄・青の3色) ・テーブルクロス ・ドライヤー										・タオル ・下絵(CDケースの大きさで)					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● ラインマーカーが乾くまで、多少時間がかかる。(約20～30分程度) ● ラインマーカーの表面が乾くまで、着色できない。 ● 着色後乾くまで多少時間がかかる。(約20～30分程度)															

[目次へ](#)

プログラム名	No 26	どんぐり工作										分類	屋内			
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。															
活動内容	ドングリなどの木の実をくっつけてオリジナルの置物を作る活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					○					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
	○		◎											50人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
							◎	◎	○							
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	20円					○					－					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①職員の説明 ・グルーガンの使い方 ・どんぐり工作の進め方										10分		研修室			
	②製作（※ 団体による指導） ・一人が土台の竹を1つずつ使って製作										1. 5時間		研修室			
	③後片づけ（※ 団体による指導）										20分		研修室			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・ホットボンドスティック ・竹(土台用) ・グルーガン ・メルトポット ・修正ペン ・ネームペン										・飾りたいドングリ等 ・作品持ち帰り用の入れ物					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 飾りたいドングリ等の木の実参加者が準備をする。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 27	手づくり楽器を作って鳴らそう	分類	屋内									
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。												
活動内容	ストローで手づくり楽器を作って鳴らす活動												
提供方法	一般団体(学校含む) ◎	芦原温泉客 ◎	主催事業 ○										
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生	中学生	高校生	青年	受入人数							
受入時期 (◎は推奨)	4月 ◎	5月 ◎	6月 ◎	7月 ◎	8月 ◎	9月 ◎	10月 ◎	11月 ◎	12月 ◎	1月 ◎	2月 ◎	3月 ◎	50人
活動費用	研修材料費 —			施設使用料 ○			その他 —						
活動の流れ	内 容									1.5 時間	場 所		
	●ストロー笛 ①説明 (※ 団体による指導) ②製作 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて製作 ③鳴らし方 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて鳴らす									20分	研修室 他		
	●ストローラッパ ①説明 (※ 団体による指導) ②製作 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて製作 ③鳴らし方 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて鳴らす									40分			
	●ストローオーボエ ①説明 (※ 団体による指導) ②製作 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて製作 ③鳴らし方 (※ 団体による指導) ・班ごとに分かれて鳴らす ○後片付けの方法									50分			
事前活動	● 1班5人で、班を編成する。												
準備物	当 所							利 用 者					
	新聞広告のチラシ セロテープ はさみ							ストロー(やわらかめ) ストロー(太め) 細めの線香					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 線香やはさみによる火傷や怪我に注意する。												

[目次へ](#)

プログラム名	No 28	ものづくり工房体験										分類	屋内			
ねらい	造形的な視点を持ちながら、材料や用具を使って、表現方法を工夫したり創造的に作ったりすることができるようにするとともに、造形的なよさ、美しさ、表し方について考え、創造的に発想し構想して見方や感じ方を深めることができるようにする。また、作り出す喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。															
活動内容	金津創作の森内の創作工房で作陶や絵付け、ガラス工房でガラス細工を体験する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					—					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児 ※大人同伴		小学生 ※大人同伴			中学生		高校生			青年		受入人数			
	○		○			◎		◎			◎		25 ～ 60人			
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	1, 600 ～ 3, 200円					—					交通費(往復)					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①諸注意 (※ 団体による指導) ・施設職員の指導・注意に従う										5分		青年の家			
	②移動										20分		金津創作の森			
	③製作 ・施設職員の説明 ・各自で製作										135分					
	④移動										20分		青年の家研修室			
	〔⑤事後学習 (※ 団体による指導、省略可)										30分					
事前活動	● 1ヶ月前までに、当所から各工房に連絡する。(※事前に空き状況を問い合わせる)															
準備物	当 所								利 用 者							
	なし								・タオル ・飲み物 ・汚れてもよい服装							
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 定員、実施可能時間等の確認は当所に問い合わせる。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 29	星空観察										分類	屋外		
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。														
活動内容	夜空の星座を確認したり、天体望遠鏡で星を観察したりする活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					—					○				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数
			◎			◎			○			○			60人
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					—					—				
活動の流れ	内 容										1 時間	場 所			
	①職員の説明 ・当日の星座について ・当日の星座について天体望遠鏡での観察の方法										10分	バルコニー			
	②体験 ・天体望遠鏡で惑星、衛星の観察										45分	バルコニー			
	③後片づけ										5分	バルコニー			
事前活動															
準備物	当 所										利 用 者				
	・天体望遠鏡 ・星座早見盤										・懐中電灯 ・(冬季)暖かい服装				
備考 (留意点)	● 暗いので、足元や周囲の状況に注意する。 ● 天候不良の場合、実施できない場合がある。														

[目次へ](#)

プログラム名	No 30	雁行の科学										分類	屋内			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。															
活動内容	冬に毎朝加賀市片野の鴨池より坂井平野に飛来するガンを観察する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					-					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			○			○			80人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
									○	◎	◎	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	-					-					講師料(相談)					
活動の流れ	内 容										1. 5 時間		場 所			
	①諸注意 (※ 団体による指導)										5分		研修室			
	②講師の説明 ・ガンの生態 ・ガンがやってくる目的										15分		研修室			
	③観察 ・肉眼で観察										50分		バルコニー			
	④後片づけ										15分		研修室			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
											・雨具(カッパ、コート等) ・水筒					
備考 (留意点)	● 朝は7:30～8:10頃、夕方は16:30～17:00頃飛来する。日によって時間が変わる。 ● 夕方の飛来は餌場の環境によりとても早くなることもある。 ● 都合により、講師不在で実施できない場合がある。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 31	サイエンス講座①「葉脈標本づくり」	分類	屋内									
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。												
活動内容	身近な植物の葉の葉脈のみを残し、葉脈の標本を作る活動												
提供方法	一般団体(学校含む) ○		芦原温泉客 —	主催事業 ◎									
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 (4年生以上)	中学生	高校生	青年	受入人数							
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	40人
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
活動費用	研修材料費 実費(30円)(1個)		施設使用料 ○		その他 —								
活動の流れ	内 容										1 時間	場 所	
	①講師の説明 ・葉肉の取り方 ・ラミネートの方法 ・後片付けの方法										15分	サイエンスルーム	
	②製作 ・班ごとに分かれて製作										30分	サイエンスルーム	
	③後片づけ										15分	サイエンスルーム	
事前活動	● 3～4人で班編成する。												
準備物	当 所 ・ラミネートフィルム ・煮出した植物の葉(ヒイラギが最適) ・プラスチックバット ・歯ブラシ ・ラミネーター ・アイロン ・台紙							利 用 者					
備考 (留意点)	● 都合により、講師不在で実施できない場合がある。												

[目次へ](#)

プログラム名	No 32		サイエンス講座②「プラ板はなぜ縮む？」								分類	屋内			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。														
活動内容	プラ板工作を行い、プラスチックの性質を探る活動。														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					◎					◎				
対象年齢	未就学児			小学生			中学生			高校生			青年		受入人数
(◎は推奨)	◎			◎			◎			◎			◎		80人
受入時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(◎は推奨)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	30円(1人)					○					—				
活動の流れ	内 容										1.5 時間		場 所		
	①職員の説明										15分		研修室		
	・プラ板工作の行い方														
	②制作										1時間		研修室		
	・プラ板に模様を描く														
	・プラ板を加熱し、縮める														
	・プラ板が縮む原理について考える。														
③後片づけ										15分		研修室			
事前活動															
準備物	当 所										利 用 者				
	・フードバック ・水性顔料系マジック ・はさみ ・アルミホイル ・軍手 ・オーブントースター														
備考 (留意点)	● 火傷に注意する。 ● はさみの使い方に注意する。 ● プラ板が縮まるときの丸まりに注意する。														

[目次へ](#)

プログラム名	No 33		サイエンス講座③「炭はなぜできるのか？」								分類	屋内			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。														
活動内容	炭をつくりくことを通して、物が燃える原理について探る活動。														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					-					○				
対象年齢	未就学児			小学生			中学生			高校生			青年		受入人数
(◎は推奨)	◎			◎			◎			◎			◎		80人
受入時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(◎は推奨)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○		
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	-					○					薪1束 (1班分、690円)				
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所		
	①職員の説明										15分		炊事棟		
	・炭のつくり														
	②制作										1時間		炊事棟		
	・缶に炭にする材料を入れ、アルミホイルをかぶせる。														
	・かまどに火を起こす。														
	・火が付いたら目皿を下ろし、缶をのせる。														
	③炭の回収														
・1時間後炭を回収しに来る。										30分		炊事棟			
④後片づけ										15分		炊事棟			
事前活動	● 8人程度で班編成する。														
準備物	当 所										利 用 者				
	・深さの浅い缶 ・アルミホイル ・軍手 ・マッチ										・割りばし、松ぼっくり、竹などの炭にする材料				
備考 (留意点)	● 火傷に注意する。														
	● 炭が出来上がるまでにある程度時間がかかる。														
	目次へ														

プログラム名	No 34	サイエンス講座④ リサイクル紙漉き	分類	屋内									
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。												
活動内容	牛乳パックによるサイクル紙すきの体験を通して、紙のしくみとリサイクルの意味について検証する活動												
提供方法	一般団体(学校含む) ◎		芦原温泉客 ○	主催事業 ○									
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児 ○	小学生 (5年生以上) ◎	中学生 ◎	高校生 ◎	青年 ○	受入人数							
受入時期 (◎は推奨)	4月 ◎	5月 ◎	6月 ◎	7月 ◎	8月 ◎	9月 ◎	10月 ◎	11月 ◎	12月 ◎	1月 ◎	2月 ◎	3月 ◎	40人
活動費用	研修材料費 10円(1人)		施設使用料 ○		その他 －								
活動の流れ	内 容				2 時間	場 所							
	①職員の説明 ・紙の原料について ・紙漉きの仕方				20分	サイエンスルーム							
	②観察・実験・考察 ・各自で紙漉き体験を行い、しおりを作る。 ・ルーペを使い、紙の繊維の絡み具合を確認する。				1時間10分	サイエンスルーム							
	③まとめ・後片づけ ・紙のリサイクルについてまとめる				20分	サイエンスルーム							
事前活動	● 3～4人で班編成する。												
準備物	当 所		利 用 者										
	・洗面器 ・バケツ ・網 ・てぬぐい ・和紙型 ・ミキサー ・アイロン ・鍋		・ふるい ・おたま ・はさみ ・新聞紙 ・牛乳パック1枚/5人										
備考 (留意点)	● アイロンの使用は指導者が行う。												

[目次へ](#)

プログラム名	No 35	サイエンス講座⑤ 水鳥笛の秘密										分類	屋内			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。															
活動内容	水鳥笛をつくりをつくり、音の出る仕組みを探る活動。															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎										○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			○									40人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎				○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	実費(60円)(1人)					○					－					
活動の流れ	内 容										1.5 時間		場 所			
	①職員の説明 ・水鳥笛のつくり方										15分		サイエンスルーム			
	②制作 ・水鳥笛の制作 ・水鳥笛の音が変わるしくみについて話し合う										1時間		サイエンスルーム			
	③後片づけ										15分		サイエンスルーム			
事前活動	● 3～4人で班編成する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・ニューカップバイアルびん ・つまようじ ・ストロー ・ホチキス ・はさみ ・音の実験器(パイプ)										・牛乳パック1枚/5人					
備考 (留意点)	● つまようじの先端に注意する。 ● はさみの使い方に注意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 36	東尋坊野外観察										分類	屋外			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。															
活動内容	国定公園内にある東尋坊の柱状節理等を観察する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (3年生以上)			中学生		高校生			青年			受入人数		
			◎			◎								120人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					交通費(往復)					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①移動										30分		東尋坊駐車場			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・貴重な植物の保護について ・安全な観察の方法										30分					
	③観察・学習 (※ 団体による指導) ・引率者を先頭にして東尋坊を一周										60分		東尋坊			
	④移動										30分		青年の家研修室			
⑤事後学習 ※③で行ってしまうことも可能										30分						
事前活動	● 引率者が下見をする。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・ルーペ (岩石の観察を行う場合) ・繰出しルーペ										・タオル ・飲み物 (・筆記用具) (・バインダー) (・ワークシート)					
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 引率者が事前に柱状節理等について予備知識を深めておく。 ● 植物や岩石の採集は不可。 ● 火気厳禁。 ● 地層の観察も、同時に行うことが可能。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 37	雄島植生観察										分類	屋外			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。															
活動内容	国立公園内にある雄島の、海岸特有の植生を観察する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (3年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎									120人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	○									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					交通費(往復)					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①移動										30分		雄島前駐車場			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・神域(社殿)の尊重や貴重な植物の保護について ・安全な観察の方法										30分					
	③観察・学習 (※ 団体による指導) ・引率者を先頭にして雄島を一周										60分		雄島			
	④移動										30分		青年の家研修室			
	⑤事後学習 ※③で行ってしまうことも可能										30分					
事前活動	● 引率者が下見をする。 ● 利用団体から大湊神社に事前に連絡して、許可を得ておく。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・ルーペ (岩石の観察を行う場合) ・繰出しルーペ										・タオル ・飲み物 (・筆記用具) (・バインダー) (・ワークシート)					
備考 (留意点)	● 職員は同行しない ● 神域であることから、信仰の対象を尊重する態度をとること。 ● 植物や岩石の採集は不可。 ● 火気厳禁。 ● 岩石の観察も、同時に行うことが可能。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 38	サイクリング										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	自転車で北潟湖畔を巡る活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					○					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			○						40人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		○	◎	◎	◎	◎	○									
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①説明 (※ 団体による指導)										40分		カヌー艇庫前			
	・コース															
	・安全に活動する方法															
活動の流れ	②活動 (※ 団体による指導)										2時間		サイクルロード			
	・各班ごとに分かれて活動															
	③後片づけ (※ 団体による指導)										20分		カヌー艇庫前			
事前活動	● 引率者が下見をする。 ● 利用者の自転車のサイズを確認し、自転車サイズ表に従って割り当てを行っておくこと ● 自転車保険の加入を推奨する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・自転車 ・ヘルメット ・プロテクター(肘・膝) ・空気入れ										・タオル ・飲み物 (・サングラス)					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● ヘルメット・プロテクターの持込可。(なるべく持ってくる方がよい) ● サイクリングロードは必ず反時計回り(カヌー艇庫を背にして)で走行する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 39	そり体験										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	段ボールやプラスチック製そりで、芝生の上を滑り降りる活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					○					—					
対象年齢	未就学児			小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
(◎は推奨)	◎			◎												40人
受入時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
(◎は推奨)	○	○	○	○	○	○	○	○				○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										1.5 時間		場 所			
	①職員の説明 ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法										20分		管理棟前			
	②活動（※ 団体による指導） ・各自に分かれて活動										1時間		わんぱく山			
	③後片づけ										10分		管理棟前			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・プラスチック製そり ・ヘルメット ・プロテクター(肘・膝)										・タオル ・軍手または手袋					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 軍手や手袋など、手を守るものを必ず用意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 40	雪そり体験										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	プラスチック製そりで、雪の上を滑り降りる活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					○					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
	◎		◎											40人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
									◎	◎	◎					
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										1. 5 時間		場 所			
	①職員の説明 ・安全に活動する方法 ・後片付けの方法										20分		体育館前			
	②活動 (※ 団体による指導) ・各自に分かれて活動										1時間		グラススキー場 つどいの広場			
	③後片づけ										10分		体育館前			
事前活動																
準備物	当 所										利 用 者					
	・プラスチック製そり ・ヘルメット										・タオル ・手袋 ・防寒具 ・そり(持参の場合)					
備考 (留意点)	● 活動中は利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 軍手や手袋など、手を守るものを必ず用意する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 41	キャンプファイヤー										分類	屋外			
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。															
活動内容	大きな炎を囲んで、火を使った儀式やレクリエーションなどを行う活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			◎			◎			100人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○								
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	2,300円(薪3束・灯油2L)					—					—					
活動の流れ	内 容										2.5 時間	場 所				
	①準備 (※ 団体による指導) ・井桁やトーチ作り、会場の設営、係打合せ										1時間	キャンプ場				
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・キャンプファイヤーの流れについて ・安全上の注意 ・後片付けの方法										10分	キャンプ場				
	③活動 (※ 団体による進行) ・進行係による司会進行										1時間	キャンプ場				
	④後片づけ (※ 団体による指導)										20分	キャンプ場				
事前活動	● 各種係(進行係など)とその役割を決め、打ち合わせを行っておく。 ● 団体が、井桁やトーチ等物品の準備、会場の設営を行う。 ● トーチ用の雑巾や古タオルがあれば団体で用意しておく。															
準備物	当 所										利 用 者					
	●薪2束 ●灯油2L ●井桁用丸太 ・トーチ ・衣装(女神・営火長) ・ワイヤレスアンプ(CDプレイヤーつき) ・ドラムリール ・消火用バケツ ・火ばさみ										・軍手 ・懐中電灯(特に進行係) ・その他必要なもの(音楽CDなど) ・雑巾や古布(2人で1枚)					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 引率者は職員から、物品についてや使い方等について説明を受ける。 ● 使い終わったトーチやファイヤーの消火を必ず確認し、職員に連絡する。 ● 追加の灯油を注文する場合は2Lごとに230円。 ● 衣装は団体で準備するのが望ましい。															

プログラム名	No 42	ディスクゴルフ	分類	屋外								
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。											
活動内容	フライングディスクを何回投げてゴールできたかを、全9ホールで競う活動											
提供方法	一般団体(学校含む)	芦原温泉客	主催事業									
	◎	◎	○									
対象年齢	未就学児	小学生	中学生	高校生	青年	受入人数						
(◎は推奨)	◎	◎	○	○	○	120人						
受入時期	4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月
(◎は推奨)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○				○
活動費用	研修材料費		施設使用料		その他							
	—		—		—							
活動の流れ	内 容				約2 時間	場 所						
	①準備 (※ 団体による準備)				20分	つどいの広場など						
	・コースを設定する											
	②説明 (※ 団体による指導)				20分	つどいの広場など						
	・ルールの説明											
	・コースの説明											
	・後片付けの方法											
	③活動 (※ 団体による指導)				1時間	つどいの広場など						
	・班に分かれて活動											
	④後片づけ (※ 団体による指導)				10分	つどいの広場など						
事前活動	● 4～5人で班編成する。 ● 団体がゴールを設置する(※最大9コース)											
準備物	当 所			利 用 者								
	・フライングディスク ・ゴール ・スコアカード ・バインダ ・筆記用具			・活動しやすい服装とシューズ ・帽子 ・タオル ・飲み物 (・サングラス)								
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● ヤブの中や敷地内の危険な場所には行かせない。 ● 引率者は職員から用具についてや使い方等について説明を受ける。 ● フライングディスクを紛失した場合やディスクが危険個所に入った場合は、職員に報告する。											

[目次へ](#)

プログラム名	No 43	スナッグゴルフ										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	2種類のクラブ(ランチャーとローラー)を使って、簡単なゴルフを楽しむ活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			◎			○		○			60人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○				○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①準備 (※ 団体による準備) ・コースを設定する										20分		つどいの広場など			
	②職員による説明 ・ルールの説明 ・クラブの使い方 ・後片付けの方法										20分		つどいの広場など			
	③活動 (※ 団体による指導) ・グループに分かれて活動										2時間		つどいの広場など			
	④後片づけ (※ 団体による指導)										20分		つどいの広場など			
事前活動	● 6～7人で班編成する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・スナッグゴルフ用具 ・スコアカード ・バインダ ・筆記用具										・活動しやすい服装とシューズ ・帽子 ・タオル ・飲み物 (・サングラス)					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● ヤブの中や敷地内の危険な場所には行かせない。 ● 器具を紛失した場合やボール等が危険個所に入った場合は、職員に報告する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 44	タグラグビー										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	チームの戦略を活かして、タグラグビーを楽しむ活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					—					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			◎			◎		◎			30人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①準備 (※ 団体による準備)										20分		つどいの広場			
	②説明 (※ 団体による指導)										20分		つどいの広場			
	・ルールの説明 ・後片付けの方法															
	③活動 (※ 団体による指導)										1時間30分		つどいの広場			
	・安全に注意して活動															
	④後片づけ (※ 団体による指導)										10分		つどいの広場			
事前活動	● 2つのチームに分けておく。 ● ルールを事前に説明しておくとい。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・ボール ・ビブス ・コーナープレート										・紅白帽子 ・タオル ・水分 ・(引率者)ホイッスル					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 引率者2名で審判を行う。 ● 貸し出した用具を破損した場合は、職員に報告する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 45	モルック										分類	屋内		
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。														
活動内容	ニュースポーツを体験しながら、高得点をめざす活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	○					○					○				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
	○		◎			◎			◎			◎			30～ 60人
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					△(※雨天時)					—				
活動の流れ	内 容										1.5 時間		場 所		
	※原則として、屋外の芝生広場で行う(※雨天時は体育館)														
	①準備 (※ 団体による指導)										10分		芝生広場		
	・使用する器具の設置、会場の設営、打ち合わせ										※(20分)		(体育館)		
	②諸注意 (※ 団体による指導)										10分				
	・競技のルールについて(必要に応じて職員が行う)														
	・安全上の注意														
	・後片付けの方法														
	③活動 (※ 団体による指導)										60分		芝生広場		
	④後片づけ (※ 団体による指導)										10分		(体育館)		
事前活動	● グループ分けをしておく。(1グループ4人×4班・・・標準) ● 団体の人数によって、少人数から大人数まで設定が可能。														
準備物	当 所										利 用 者				
	・モルックの用具 ・人工芝マット※雨天時 ・スコア記入用紙 ・ビブス(必要に応じて)										・屋外用シューズ ・運動のできる服装 ・屋内用シューズ※雨天時 ・タオル ・水分				
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 引率者は職員から用具についてや使い方等について説明を受ける。 ● 貸し出した用具を破損した場合は、職員に報告する。														

[目次へ](#)

プログラム名	No 46	カローリング										分類	屋内		
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。														
活動内容	ニュースポーツを体験しながら、高得点をめざす活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	○					○					○				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
	○		◎			◎			◎			◎			60人
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					○					—				
活動の流れ	内 容										2 時間	場 所			
	①準備 (※ 団体による指導) ・使用する器具の設置、会場の設営、打ち合わせ										20分	体育館			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・競技のルールについて ・安全上の注意 ・後片付けの方法										20分	体育館			
	③活動 (※ 団体による指導)										1時間	体育館			
	④後片づけ (※ 団体による指導)										20分	体育館			
事前活動	● グループ分けをしておく。(1グループ4～5人) ● 団体がコースを設置する。														
準備物	当 所 ・カローリング										利 用 者 ・運動のできる服装 ・屋内用シューズ ・タオル ・水分				
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 活動準備前に、引率者は職員から用具についてや使い方等について説明を受ける。 ● 貸し出した用具を破損した場合は、職員に報告する。														

[目次へ](#)

プログラム名	No 47	スティックリング										分類	屋内			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	ニュースポーツを体験しながら、高得点をめざす活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			◎			◎			20人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					○					—					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①準備 (※ 団体による指導) ・使用する器具の設置、会場の設営、打ち合わせ										20分		体育館			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・競技のルールについて ・安全上の注意 ・後片付けの方法										20分		体育館			
	③活動 (※ 団体による指導)										1時間		体育館			
	④後片づけ (※ 団体による指導)										20分		体育館			
事前活動	● グループ分けをしておく。(1グループ4～5人) ● 団体がそれぞれのコースを設置する。															
準備物	当 所 ・スティックリング用具							利 用 者 ・運動のできる服装 ・屋内用シューズ ・タオル ・水分								
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 活動準備前に、引率者は職員から用具についてや使い方等について説明を受ける。 ● 貸し出した用具を破損した場合は、職員に報告する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 48	バウンドテニス										分類	屋内			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	ニュースポーツを体験しながら、高得点をめざす活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					○					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			◎			◎			20人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					○					—					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①準備 (※ 団体による指導) ・使用する器具の設置、会場の設営、打ち合わせ										20分		体育館			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・競技のルールについて ・安全上の注意 ・後片付けの方法										20分		体育館			
	③活動 (※ 団体による指導)										1時間		体育館			
	④後片づけ (※ 団体による指導)										20分		体育館			
事前活動	● 団体がコートを設置する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・バウンドテニス用具										・運動のできる服装 ・屋内用シューズ ・タオル ・水分					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 活動準備前に、引率者は職員から用具についてや使い方等について説明を受ける。 ● 貸し出した用具を破損した場合は、職員に報告する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 49	スポレク										分類	屋内		
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。														
活動内容	各種のスポーツ活動を行う														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					◎					○				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
	◎		◎			◎			◎			◎			60名
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					○					—				
活動の流れ	内 容										2～3 時間		場 所		
	①準備 (※ 団体による指導) ・使用する器具の設置、会場の設営、打ち合わせ										20分		体育館		
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・競技のルールについて ・安全上の注意 ・後片付けの方法										20分		体育館		
	③活動 (※ 団体による指導)										1～2時間		体育館		
	④後片づけ (※ 団体による指導)										20分		体育館		
	【各種目の利用可能数】 ソフトバレーボール3面、卓球2台、ストラックアウト1台 大縄5本、バスケットボール1面、バレーボール1面 輪投げ2台、バドミントン3面、ドッジボール1面 他														
事前活動															
準備物	当 所										利 用 者				
	・各種目の用具一式 ・得点記録用紙 ・得点ボード ・ビブス ・指導用資料										・運動のできる服装、防寒具(冬季) ・屋内用シューズ ・タオル ・水分				
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 活動準備前に、引率者は職員から用具の使い方等について説明を受ける。 ● 貸し出した用具を破損した場合は、職員に報告する。														

[目次へ](#)

プログラム名	No 50	キャンドルサービス										分類	屋内			
ねらい	自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め自然と文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことを通して、協働する様々な集団活動の意義を理解し、人間関係の課題を解決できるようにする。その上で、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。															
活動内容	火の着いた燭台の周りを囲んで、火を使った儀式やレクリエーションなどを行う活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					○					
対象年齢	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
(◎は推奨)	○		◎			◎			◎		◎			120人		
受入時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
(◎は推奨)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	200円					○					—					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①準備 (※ 団体による指導)										30分		研修室			
	・燭台やトーチ等物品や会場の設営、係打合せ ②諸注意 (※ 団体による指導)										10分		研修室			
	・キャンドルサービスの流れについて ・安全上の注意 ・後片付けの方法 ③活動 (※ 団体による進行)										1時間		研修室			
	・進行係による司会進行 ④後片づけ (※ 団体による指導)										20分		研修室			
事前活動	● 各種係(進行係など)とその役割を決め、打ち合わせを行っておく。 ● 団体が、キャンドルサービス用燭台や生徒燭台等物品の準備、会場の設営を行う。															
準備物	当 所 ・燭台用キャンドル ・女神・営火長用ロウソク ・キャンドルサービス用燭台 ・キャンドルサービス用生徒燭台 ・衣装(女神・営火長) ・フロアーシート ・音響機器(アンプ、CDプレイヤー) ・マイク										利 用 者 ・生徒燭台用ロウソク ・懐中電灯(特に進行係) ・その他必要なもの(音楽CDなど) ・衣装(女神・営火長)					
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 引率者は職員から、物品についてや使い方等について説明を受ける。 ● 使い終わったら、床に垂れたロウをはがす。 ● 必ずロウソクの消火を確認してから回収する。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 51	足こぎボート体験										分類	屋外			
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。															
活動内容	足こぎボートに乗り、北潟湖畔公園管理棟前からアイリスブリッジまでを往復する活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					—					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 ※大人同乗			中学生		高校生			青年		受入人数			
			△			◎		◎			◎		36人 (一度に体験できる人数)			
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○				○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					3人乗り700円 6人乗り1,000円(1台30					
活動の流れ	内 容										1 時間		場 所			
	①移動										10分		公園管理事務所前 北潟湖			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・安全な乗り方										10分					
	③体験 (※ 一度に36名まで) ・アイリスブリッジまで遊覧										30分					
	④移動										10分					
事前活動	● 利用団体が1週間前までに公園管理事務所で予約をとる。															
準備物	当 所										利 用 者					
	なし										・活動しやすい服装 ・タオル ・帽子 ・飲み物					
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 原則土日は不可。(※直接公園管理事務所に問い合わせる) ● 平日でも風が強い場合は不可。 ● あわら市内の小学校は減免対象。(※学校行事のみ、あわら市建設課に問い合わせる)															

[目次へ](#)

プログラム名	No 52	おもしろ自転車体験										分類	屋外				
ねらい	その特性に応じた運動の行い方および健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付け、自己の課題の解決に向かって思考し判断する力を養うとともに、健康の増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。																
活動内容	2人以上で乗ることができるおもしろ自転車を体験する活動																
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業						
	◎					◎					—						
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (3年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数		
			◎			○									36人 (一度に体験できる人数)		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○					○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他						
	—					—					300円(1台30分)						
活動の流れ	内 容										1 時間		場 所				
	①移動										10分		公園管理事務所前 北潟湖				
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・安全な乗り方と遊び方										10分						
	③体験 (※ 一度に36名まで) ・ゾーン内を自由に走る										30分						
	④移動										10分						
事前活動	● 利用団体が1週間前までに公園管理事務所です約をとる。																
準備物	当 所								利 用 者								
	なし								・活動しやすい服装 ・タオル ・帽子 ・飲み物								
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 原則土日は不可。(※直接公園管理事務所に問い合わせる) ● あわら市内の小学校は減免対象。(※学校行事のみ、あわら市建設課に問い合わせる)																

[目次へ](#)

プログラム名	No 53		牧場体験「牛の観察と羊・ヤギとのふれあい」										分類	屋外		
ねらい	自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくりや生産活動などの体験活動を通して、課題の解決に必要な知識および技能を身に付け、情報を集め整理分析して表現することができるようにする。また、主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。															
活動内容	牛の放牧の様子を見学したり、羊・ヤギへのえさやりを体験したりする活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					◎					—					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数	
	◎		◎			○									120人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					交通費(往復)					
活動の流れ	内 容										2 時間		場 所			
	①諸注意 (※ 団体による指導)										10分		畜産試験場			
	・ガイドや施設職員の指導・注意に従う															
	・場内移動中の交通安全															
	②移動										20分					
③見学や体験 (※ 30名ごとのグループに分かれて										40分						
・牛の放牧の観察																
・羊・ヤギの観察とエサやり																
④移動										20分						
〔⑤事後学習 (※ 団体による指導、省略可)										30分		青年の家研修室				
事前活動	● 利用団体が予約をとり、申込書をメール・FAX・郵送する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	なし										・長ぐつ ・筆記用具 ・ワークシート					
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 申込書送付後、畜産試験場から問い合わせがある。 ● 30名を超える場合、グループを分けて活動する。(※ グループごとにガイドがつく)															

[目次へ](#)

プログラム名	No 54	パラボラアンテナ見学										分類	屋外			
ねらい	自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うとともに、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。															
活動内容	工大あわらキャンパスにあるパラボラアンテナを見学し仕組みや役割を学ぶ活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	—					—					◎					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生			青年			受入人数	
			◎			◎			◎						30人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					—					
活動の流れ	内 容										2.5 時間		場 所			
	①諸注意 (※ 団体による指導)										5分		青年の家			
	②移動										15分					
	③講師の説明、体験 ・パラボラアンテナの仕組み ・その日の星空について ・パラボラアンテナの操作体験 ・星空観察(天体望遠鏡での観察を含む)										2時間		福井工大 あわらキャンパス			
	④移動										15分					
事前活動	● 利用団体は外部団体に連絡する。															
準備物	当 所										利 用 者					
	・星座早見										・懐中電灯					
備考 (留意点)	● 実施不可の場合あり。(※要相談) ● 職員は同行しない。 ● 都合により、講師不在で実施できない場合あり。															

[目次へ](#)

プログラム名	No 55	百人一首王国あわら かるた体験	分類	屋内									
ねらい	日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。そして、親しみやすい古文に触れ、古典を読んだり作品の内容を知ったりする活動を通して、昔の人のものの見方、感じ方を知り、言葉が持つよさを認識し、言語感覚を養い、国語を尊重する能力の向上を図る。												
活動内容	百人一首を使って、カルタとりに親しんだり、カルタ競技を行う活動												
提供方法	一般団体(学校含む) ◎		芦原温泉客 ○	主催事業 ○									
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児 ○	小学生 ◎	中学生 ◎	高校生 ◎	青年 ◎	受入人数							
受入時期 (◎は推奨)	4月 ○	5月 ○	6月 ○	7月 ○	8月 ○	9月 ○	10月 ○	11月 ○	12月 ○	1月 ○	2月 ○	3月 ○	40人
活動費用	研修材料費 —			施設使用料 ○			その他 —						
活動の流れ	内 容									1 時間	場 所		
	①説明 (※ 団体による指導) ・百人一首のつくり ・遊び方 ・後片付けの方法									10分	研修室(和室)		
	②活動 (※ 団体による指導) ・CDに合わせて活動									40分	研修室(和室)		
	③後片づけ (※ 団体による指導)									10分	研修室(和室)		
事前活動													
準備物	当 所								利 用 者				
	・百人一首 読み札・取り札 ・百人一首 朗読CD ・CDラジカセ ・マイク ・アンプ								なし				
備考 (留意点)	● 利用団体で指導を行う。(※職員は説明のみ行う) ● 破損および紛失した場合は、職員に報告する。												

[目次へ](#)

プログラム名	No 56	石油備蓄基地見学										分類	屋内			
ねらい	地域や環境、社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。また、社会的事象を多角的に捉え、課題解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、表現する力を養うとともに、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度、地域に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養う。															
活動内容	原油タンクの大きさを実感し、石油備蓄の取り組みやエネルギー事情について学ぶ活動															
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業					
	◎					—					—					
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生		青年			受入人数		
			◎			◎			◎		◎			80人		
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他					
	—					—					交通費(往復)					
活動の流れ	内 容										3 時間		場 所			
	①諸注意 (※ 団体による指導)										10分		青年の家研修室			
	・展示物には触れないこと															
	・写真は不可															
	②移動										40分		駐車場または現地			
③施設見学										60分						
・施設職員先導に従って施設の見学や説明																
・ビデオ視聴																
・質疑応答																
④移動										40分						
〔⑤事後学習 (※ 団体による指導、省略可)										30分		青年の家研修室				
事前活動	● 展示物に触れないように指導をしておく。															
	● 質問など、事前に考えておく。															
	● 利用団体が事前に予約をとり、書類(2種類)をFAXまたは郵送する。															
	(※予約後速やかに)															
準備物	当 所										利 用 者					
	なし										〔 ・筆記用具 ・ワークシート 〕					
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 状況によっては受け入れをしない場合がある。(要確認)															

[目次へ](#)

プログラム名	No 57	三国湊の歴史学習										分類	屋外		
ねらい	地域や環境、社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。また、社会的事象を多角的に捉え、課題解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、表現する力を養うとともに、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度、地域に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養う。														
活動内容	諸施設を巡って、北前船で栄えた三国湊の歴史や文化を知る活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					◎					—				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生			中学生			高校生			青年			受入人数
	○		◎			◎			◎			◎			制限なし
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					—					1, 500円(ガイド1人)、交通費(往復)				
活動の流れ	内 容										約 3 時間		場 所		
	①諸注意 (※ 団体による指導)										5分		青年の家研修室		
	・ルート移動中の交通安全														
	・ガイドや施設職員の指導・注意に従う														
	②移動										30分				
	③ルートにそって見学										90分		駐車場または現地		
	・ガイドの先導に従って各施設の見学														
	④移動										30分				
	〔⑤事後学習 (※ 団体による指導、省略可)										30分		青年の家研修室〕		
事前活動	● ルート移動中の交通安全に注意する。 ● ガイドや施設職員の指導・注意に従う。(※展示物に触れないなど) ● 1週間前までに、外部団体に連絡をし、ボランティアガイド申込書を送付する。														
準備物	当 所										利 用 者				
	なし										・タオル ・飲み物 ・雨具 (・筆記用具 ・ワークシート)				
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 複数のグループによる複数のルート見学可。(※ガイドはルートごとにつく) ● 見学先を選んでルートをカスタマイズすることも可。 ● ガイド交通費は、当日現金で直接支払う。 ● レンタサイクル有。(※38台、料金:2hまで 大人300円、小学生以下100円、 延長1hあたり100円)														

[目次へ](#)

プログラム名	No 58	あわらの歴史学習 藤野巖九郎記念館見学	分類	屋内									
ねらい	地域や環境、社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。また、社会的事象を多角的に捉え、課題解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、表現する力を養うとともに、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度、地域に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養う。												
活動内容	あわら市出身の藤野巖九郎氏の業績や旧家を展示した記念館を見学する活動												
提供方法	一般団体(学校含む) ◎		芦原温泉客 ◎	主催事業 —									
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児	小学生 ◎	中学生 ◎	高校生 ○	青年 ○	受入人数							
受入時期 (◎は推奨)	4月 ◎	5月 ◎	6月 ◎	7月 ◎	8月 ◎	9月 ◎	10月 ◎	11月 ◎	12月 ◎	1月 ◎	2月 ◎	3月 ◎	30人 (一度に見学 できる人数)
活動費用	研修材料費 —		施設使用料 —		その他 200円(入館料)、交通費(往復)								
活動の流れ	内 容										1.5 時間	場 所	
	①移動										15分	藤野巖九郎記念館前	
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・展示物には触れないこと										10分		
	③施設見学 (※ 一度に30人まで) ・展示エリアでの説明と旧家の見学										20分	藤野巖九郎記念館	
	④移動										15分	青年の家研修室	
⑤事後学習 (※ 団体による指導、省略可)										30分			
事前活動	● 展示物に触れないように指導をしておく。 ● 藤野巖九郎氏のアニメDVD(1時間程度)の貸出も可。(※藤野巖九郎記念館に問い合わせ) ● 1週間前までに、藤野巖九郎記念館に連絡する。												
準備物	当 所 なし								利 用 者 〔・筆記用具 ・ワークシート〕				
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 入館料は、高校生以下および身障者は無料。それ以外は20人以上なら団体割引有 ※入館時に現金で支払う ● 30名以上の団体は、メンバーを分けて複数回の見学にする。 ● 旧家の階段は急角度で踏みしろが少ないため、上り下りに十分注意する。												

[目次へ](#)

プログラム名	No 59		丸岡城城下町探索										分類	屋外	
ねらい	地域や環境、社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。また、社会的事象を多角的に捉え、課題解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、表現する力を養うとともに、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度、地域に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養う。														
活動内容	丸岡城を見学したり城下町の様子を調べたりすることで、丸岡城の歴史を調査する活動														
提供方法	一般団体(学校含む)					芦原温泉客					主催事業				
	◎					◎					—				
対象年齢 (◎は推奨)	未就学児		小学生 (4年生以上)			中学生			高校生		青年			受入人数	
			◎			◎			○		○			80人	
受入時期 (◎は推奨)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
活動費用	研修材料費					施設使用料					その他				
	—					—					入館料(大人450円、小中学生150円)、交通費(往復)				
活動の流れ	内 容										3 時間	場 所			
	①移動										40分	霞城公園			
	②諸注意 (※ 団体による指導) ・施設職員の指導、注意に従う										10分				
	③見学 ・城内見学 ・資料館見学										60分				
	④移動										40分	青年の家研修室			
〔⑤事後学習 (※ 団体による指導、省略可)										30分					
事前活動	● 事前に外部団体に連絡をする。(霞が城公園管理事務所) ● ガイドの指導・注意に従う。(※展示物に触れないなど)														
準備物	当 所								利 用 者						
									・帽子 ・筆記用具 ・雨具 ・水分						
備考 (留意点)	● 職員は同行しない。 ● 入館料 大人450円 小中学生150円(資料館入館料を含む)団体割引有。														

目次へ

[目次へ](#)